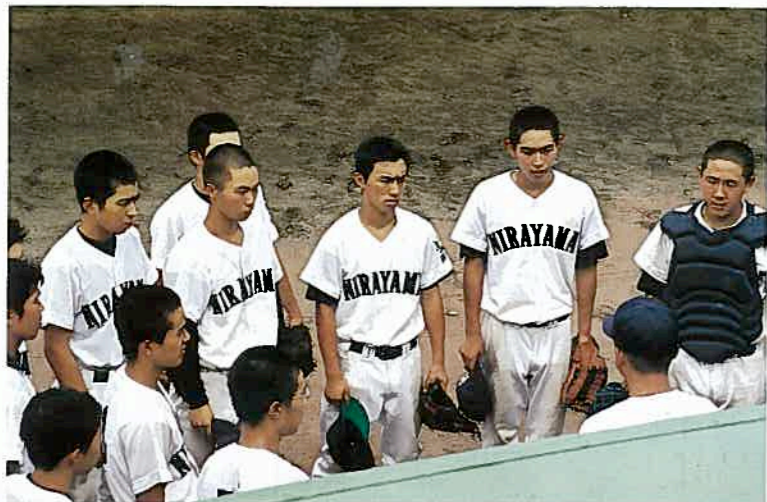


# 龍城球鬼



岩科監督から古殿監督へバトンタッチ

## 平成11年度を振り返って

平成7年4月から4年間、本校野球部を率いた岩科泰弘監督が人事異動により吉原商業高校に栄転され、三島南高校から後任の監督として古殿和彦先生が就任した。また、野球部長も久嶋宏幸先生から牧野博充先生にバトンタッチされ、新しい陣容で平成11年度がスタートした。

春の東部大会は2回戦で敗れたが、前年の雪辱を期して夏の大会に臨み、1回戦、焼津水産との対戦は1点を争う好ゲームとなった。特に終盤の7回からは逆転、再逆転のシーソーゲームとなり、延長戦突入かと思われた9回裏2死から劇的なサヨナラ本塁打を浴び、残念ながら初戦突破はならなかった。しかし、適地ともいえる焼津球場に詰めかけた本校応援席からは選手の奮闘に対して惜しめない拍手が送られた。

この大会を12年振りに制した静岡高校は、センバツに続き、春夏連続の甲子園出場を果たした。一方、新チームは4年振りに秋の県大会出場を果たした。2年連続初戦敗退の夏の大会ではリベンジを期待したい。

平成12年3月

葦山高校野球部OB会事務局

## 平成10年度OB会事業報告

(平成10年8月1日～平成11年7月31日)

### 1 主な行事

- H.11 3/14 龍城球児 (野球部年報・OB会報) 第2号の発行
- H.10 10/24 平成10年度OB総会
- 3/14 卒業生入会式
- 4/17 古殿新監督、岩科前監督の歡送迎会(父母会と共催)
- 5/15 野球部父母会総会 (父母会主催)
- 7/10 夏の県大会激励会 (父母会主催)

### 2 会員数及び会費納入状況

(平成11年7月31日現在)

- 名簿掲載 529名うち所在不明・永眠者79名
- 実質会員 450名
- 会費納入 177名 五六九,〇〇〇円 (平成10年8月1日～平成11年7月31日)

## 収支決算報告書

収支決算書(平成10年8月1日～平成11年7月31日)

単位:円

収入の部	金額	摘要	支出の部	金額	摘要
前期繰越	286,107		部活動援助等	363,800	バッティングティ20ヶ ボール 9ダース 他
年会費	50,000	9年度 16名	OB会報発行	94,920	東海印刷 600部
〃	569,000	10年度 177名	卒業生入会式	48,000	図書券 16名分
特別寄付金	70,000	高19回 森島	慶弔費	73,470	慶1件 弔1件
雑収入	60,000	百周年記念誌10冊	会議費	10,000	歡送迎会負担金
〃	9,000	総会等剰余金	通信費	191,350	別納3回、往復1回 他
預金利息	118	静銀普通	事務費	95,469	コピー、事務補助 他
未払金	12,547	山本会計事務所	雑費	0	送金料は各費目に含む
			次期繰越	180,363	
合計	1,057,372		合計	1,057,372	



収支予算書(平成11年8月1日～平成12年7月31日)

単位:千円

収入の部	11年度予算	10年度決算	支出の部	11年度予算	10年度決算
前期繰越	180	286	部活動援助等	300	364
年会費	750	619	OB会報発行	95	95
雑収入	50	139	卒業生入会式	40	48
預金利息	1	1	弔費	—	74
未払金	—	12	会議費	50	10
			通信費	150	191
			事務費	90	95
			雑費	50	—
			予備費(次期繰越)	194	180
合計	981	1,057	合計	981	1,057



- 発行者 葦山高校野球部OB会
- 事務局 三島市芝本町11,29
- 印刷所 レストラランじゅん内
- 写真協力 株式会社 東海印刷
- フオスタジオ かとう光房



# 高校52回卒業生

# 特集



## 平成十一年度を振り返って

監督 古殿和彦

平成十一年四月より、三島南高校から  
葦山高校への転任に伴い、野球部監督と  
して指導に携わり、はや一年がたとうと  
しています。この間OB会の皆様方には  
多大なる御支援を頂き、誠にありがとう  
ございます。

さて平成十一年度を振り返ってみます  
と、何も解らないままにいきなり臨んだ  
春季大会一回戦の勝利、そしてよもやの  
二回戦敗退、まさしく勝つのは選手の方、  
負けるのは監督の差であるということ  
思い知らされた大会が、この一年のスタ  
ートでした。この大会の反省として、何  
しろ大会中は顔と名前が一致していない  
状態でしたので、私が選手をよく把握し、  
理解することに努めました。そして選手  
には、今までとは違う結果をつかむ為  
に監督が変わることにより、意識を変えて  
いくことを要求しました。私が初めてチ  
ームと顔を合わせた時に、主将秋山が代  
表して言ってくれた「先生を信じてつい  
ていきます。」という言葉が心の支えに  
なり、私も選手を信じて要求水準がどん  
どん高まっていった気がします。特に六  
月に行ったここ数年には例のない、三泊  
四日の強化合宿は、本当によくがんばっ  
たと思います。

こうして数々の試練を越え、自信を高  
めて臨んだはずの夏の大会でしたが、結

部長	牧野博充	監督	古殿和彦	出身中学
遊撃手	◎秋山 雄生	函 南		
三塁手	春山 周平	清 水		
三塁手	直井 智幸	清 水		
投手	渡邊 佑規	大 仁		
投手	遠藤 浩一	函南東		
捕手	松岡 賢志	修善寺		
一塁手	上條 恒人	清 水		
二塁手	大川 充晃	長 岡		
左翼手	藤原 晃佑	宇佐美		
中堅手	小川 幸希	仁 科		
右翼手	蔭山 義人	山 田		
マネジャー	清水 誓子	修善寺		

## 伝統を励みに

部長 牧野博充

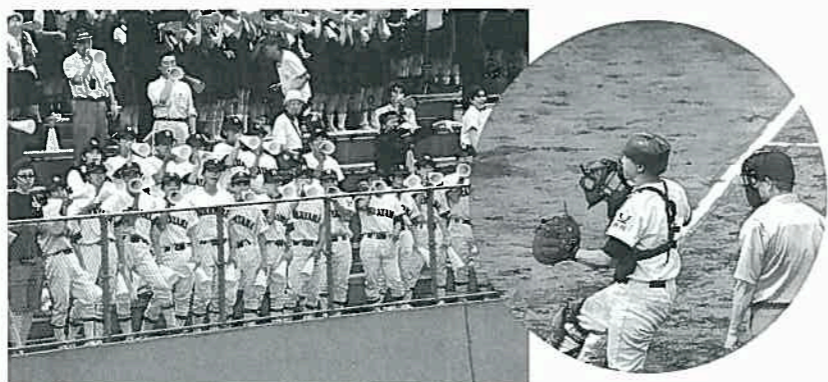
第八十一回全国高等学校野球選手権静岡大会  
は、静岡高校の甲子園出場で幕を閉じました。  
今年の日程は、十七日開会式、十八日焼津球  
場第一試合対焼津水産高校戦と、抽選に恵まれ  
ませんでした。開会式のと静岡南高で練習を  
行い、敵地に宿泊という強行スケジュールでし  
たが、選手達はこのハンデを全く感じさせない  
プレーで戦ってくれました。リードを許したも  
のの粘り強い戦いで、九回同点に追いつき試合  
の流れは葦山に傾き勝利は目の前というところ  
でした。野球は本当にわからないものです。九  
回裏劇的なサヨナラホームランを打たれ、三年  
生の夏は終わってしまいました。  
古殿監督の指導のもと選手達は着々と成果を  
上げてくれました。それだけに、この敗退は残  
念でたまりません。しかし、三年生が楽しいと  
れた新しい伝統はこれからの野球部に生かされ  
ていきます。葦山野球部の経験は選手一人  
一人の人生に大きな関わりを持ち必ず役に立つ

ことと思います。本当にごくろうさま、お疲れ  
さまでした。野球から離れた今、自分自身をき  
つと「良くやったものだ」と、褒め称えている  
ことでしよう。  
新チームは大会後すぐ活動しました。露木主  
将率いる総勢三十名の選手達は真摯な態度で練  
習に取り組み、一戦一戦力を付けていき、地区  
大会を粘り強く勝ち抜いていきました。四年ぶ  
りの秋季県大会出場は葦山野球部に価値ある足  
跡を残してくれました。  
選手達は進学校の宿命である「勉強との両立」  
という問題がいつも頭の片隅に付きまわって  
います。このままで大丈夫だろうか、目標大学に  
入れるだろうかと常に不安を抱えての生活と言  
えます。また、先輩達の残してくれた輝かしい  
成績、伝統が選手にとりプレッシャーになって  
いることは、紛れもない事実です。選手達には  
このプレッシャーを「重圧」ではなく、大きな  
暖かい「励まし」なのだと思わせ、一層の努  
力をさせていきたいと思います。  
最後になりましたが、日頃から篤いご支援、  
ご声援を賜っている多くの皆様に、心から感謝  
を申し上げます。  
今後ともよろしくごお願い申し上げます。

果は残念ながら二年連続の初戦敗退とな  
ってしまいました。しかし、内容のある  
本当に良い試合であったと、私は今でも  
自負しています。結果として負けてしま  
ったことだけが唯一の悔いであって、あ  
の子供達、そしてあのチームらしい試合  
ができたことはとても満足していますし、  
子供達の成果であると褒めてあげたいと  
思っています。主力メンバーが抜け、ほ  
んどゼロからのスタートだった秋季大  
会で、四年ぶりの県大会出場を決めたこ  
とも、夏の大会そして三年生が与えた影  
響は大だったと思います。またそれを心  
で感じ、夏の練習を死に物狂いで取り組  
み、県大会出場を勝ち取った現チームは、  
まさしく可能性を秘めたチームであると  
感じています。今春、そして夏に大きな  
成果をあげるべく、選手達は長く寒いそ  
して辛い冬を精力的に取り組んでしまし  
た。私自身もこの内容のあったこの一年  
をしっかりと振り返り、可能性を信じて、  
ひたむきな子供達らしい試合ができるよ  
うチーム作りを励んでいきたいと思いま  
す。今後ともご支援の程、よろしくお願  
い致します。



久嶋先生、牧野先生、岩科先生、古殿先生



## 三年間を振り返って

主将 秋山雄生

三年間、葦山高校で野球をやってきました  
本当に良かった、と心の底から思ってい  
ます。冬の間の基礎トレーニングや、夏  
の大会前の合宿など、厳しいことも数多  
くありましたが、そういった中で得たも  
の、とてつもなく大きなものです。そ  
して、先生や先輩・後輩にも恵まれて、  
僕たちは本当に良い環境の中で三年間野  
球をやらせてもらいました。

試合日	対戦校	結果	備考
7/18	7-11(田方農業)	10-11	葦高一対戦校
7/11	4-4(長 泉)	4-3	
7/10	6-7(下田北)	5-4	
7/4	8-1(三 島)	5-0	
6/27	2-1(小 山)	3-2	
6/13	1-3(吉原工業)	2-4	
6/12	0-8(伊豆中央)	6-3	
6/6	22-0(誠 恵)	5-1	
6/5	0-9(日大三島)	3-1	
5/30	5-13(沼津工業)	7-4	
5/23	3-9(富士)	3-7	
5/16	2-3(静岡東)	2-12	
5/9	7-4(浜松南)	6-13	
5/15	3-7(田方農業)	0-10	
5/3	4-6(島 田)	3-10	
5/2	6-3(御殿場南)	3-2	
4/29	3-2(桐 陽)	8-8	
4/25	7-1(伊東商業)	11-1	
4/18	5-3(沼津立憲)	5-1	
4/4	1-4(伊東商業)	3-2	
4/1	3-2(富士東)	7-7	
3/29	5-0(木更津)	20-6	
3/28	6-3(静岡農業)	3-12	
3/24	2-4(三島南)		
3/23	5-4(伊豆中央)		
3/22	4-3(長 泉)		
3/17	10-11(田方農業)		
7/18	4-6(焼津水産)	2-18	第81回選手権静岡大会回戦



自分たちが三年間やってきたことの総決  
算である夏の大会では、負けたら最後とい  
う重圧、大舞台の中でプレーをするとい  
う緊張の中で、敗れてしまったものの、自分  
たちの力を全て出し、今までで一番素晴らし  
い試合をしたと思っています。もちろん結果に  
は満足していませんが、自分たちが三年間  
積み重ねてきたことには満足しています。  
ですから、二年生たちも、終わった後で後  
悔する様なことだけはしないで欲しいと思  
います。  
最後に、今まで御指導していただいた岩  
科先生、久嶋先生、古殿先生、牧野先生、そ  
して応援して下さいの方々、今までお世話に  
なり、本当にありがとうございました。

山 真の

「のびのび野球」を 目指して

平成7年に快進撃を続け、栄冠を勝ち取った諸先輩方の活躍により、

「のびのび野球」を見せるのだ。 ウンドにぶつけてください。

- 部長 牧野 博充
監督 古殿 和彦
(投) 渡邊 賢志 3
(捕) 松岡 佑規 3

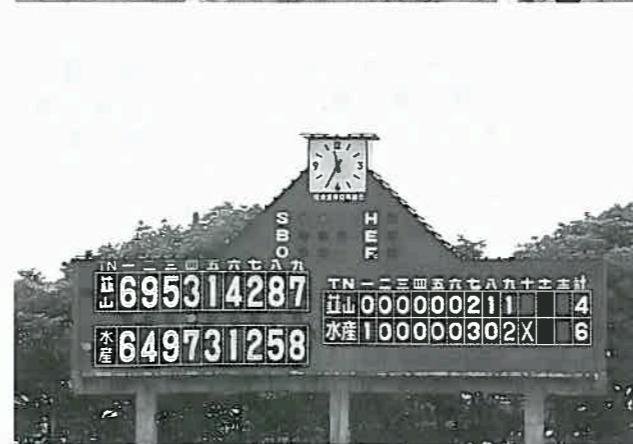
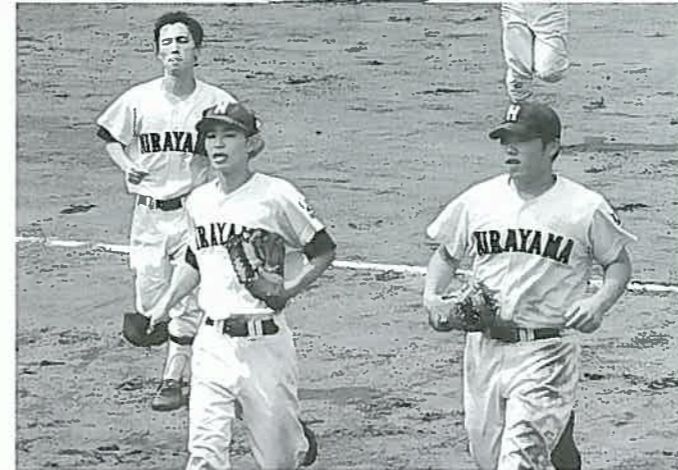
山 真の

Score table for the match between 山 and 焼津水産.

焼津水産 池ヶ谷 (焼)
▽本塁打 加藤 (焼) 渡辺佑 (山)
▽二塁打 林 (焼) 秋山、松岡、渡辺享 (山)
▽暴投 大滝 (焼)
▽試合時間 2時間34分

【評】 焼津水産は終盤、山の猛追で追い付かれたが、池ヶ谷の劇的なサヨナラ本塁打で接戦を制した。

7回、疲れの見え始めた焼津水産の大滝が2死から3長短打を許し、山が逆転。直後に焼津水産は加藤の中越え三塁打などで再逆転し山の8、9回の反撃を2点でしのいだ。



現役チーム紹介

感謝そして謙虚に

主将 露木 暢

新チーム結成時、力量的に傑出した選手がなくひ弱な状態であったが、まとまりがありそれが大きな力となっていました。

体力でも技術でもない「精神力」が勝敗を左右する高校野球において、野球が出来るという喜びを持ち続け、グラウンドという大きな舞台の上で、自分達が積み重ねてきた「感謝」という思いを満足に表現できた時、自らが期待する結果が得られると信じています。

現役チーム 戦績表

平成11年7.31～現在

Table of match results for the current season (Heisei 11, July 31 - present).

Table of player rosters for the team, listing positions and names.

平成12年度 野球部試合予定表

Table of scheduled matches for the Heisei 12 baseball team.

## O B 会長を仰せつかって・・・

O B 会 会 長 豊 岡 武 士



昨年8月のO B会総会において、先輩・後輩の皆様から会長を仰せつかりました。岡本前会長には、永く会長をお引受けいただき、その間、平成7年の甲子園出場の際の支援活動や、創部百周年記念式典などの大事業をはじめ、O B会活動の円滑な推進の先頭に立っていただいたり参りました。また、人格、識見、学歴はもとより医師として地域の方々から広く信頼されている先輩であり、O B会員等しく尊敬いたしておりました。これまでのO B会活動の発展へのご尽力に、会員とご協力して心から感謝を申し上げる次第であります。

このたび、そのような大先輩の後任を仰せつかりましたので、大変な緊張と責任の重さを感じているところです。

O B会の皆様には、葦高野球部員が百余年の歴史と伝統を踏まえ、龍城グラウンドでの野球への取組みと鍛錬を通じ、「知・徳・体」の調和した逞しい人間に育ち、将来、世界や地球規模で考え人類や社会に貢献する志を持つてほしいと願っていると思存します。また、地域の人々からも、このような考えが理解され、安心して葦高野球部に子弟を託したいと思つていただける信頼を得てほしいと願っているものと存じます。

O B会は、会員のこのような願いを基に、引続き葦高野球部及び部員への物心両面に亘る支援と技術向上等の事業に取り組みたいと考えております。

会員の皆様には、21世紀にも葦高野球部の輝かしい歴史が刻まれるようご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

## 役員改選

平成11年8月14日に開催したO B総会において、次のとおり役員改選が行われました。

新職名	氏名	卒業回	旧職名
顧問	岡本重幸	中49回	会長
〃	山口順之	中52回	副会長
〃	荒木淳	高4回	〃
〃	足立光弘	高5回	〃
〃	杉山徹	高5回	〃
〃	長澤登	高7回	〃
〃	太田豊	高8回	監事

職名	氏名	卒業回	備考
会長	豊岡武士	高13回	(事務局長)
副会長	小出俊明	高19回	(事務局長)
〃	大川明	高20回	(〃)
〃	増汐論	高21回	(〃)
〃	大野文男	高23回	(〃)
〃	足立勝美	高25回	(学年幹事)

なお、事務局については、次のとおり会長が委嘱しました。

職務	氏名	卒業回	備考
事務局長	宇田嘉隆	高22回	(事務局長)
事務次長	小澤通利	高28回	(〃)
〃	小桜充久	高28回	(〃)

## 訃報



葦山高校元監督でO B会事務局次長の久保一昭氏(高校18回卒)におかれましては、平成11年6月25日ご逝去されました。

久保氏は、昭和41年葦山高校卒業後、立教大学に進み東京六大学野球でも活躍、卒業後は家業の酒店を継がれ、その傍ら、昭和47年昭和54年、56年の3年間にわたり葦山高校の監督に就任、数多くの後輩を指導されました。また、平成7年から4年間、O B会事務局次長として、甲子園出場への支援活動や創部百周年記念事業などにおいて、リーダーシップを発揮されました。

なお、ご遺族から、故人の意志により当O B会あて100万円の寄付のお申出があり、8月14日受納いたしました。

ここに、久保氏の永きにわたるご功績を称えるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 特集

10月31日、平成7年夏の甲子園に出場したO Bを東京六大学野球の舞台である神宮球場に訪ねた。この日は、秋のリーグ戦の終盤を飾る伝統の早慶戦が行われ、慶応には平井渉(高校48回卒、4年、投手)、飯田充喜(高校48回卒、4年、外野手)、山田健之(高校49回卒、3年、内野手)、早稲田には鈴木健司(高校48回卒、4年、主務)がベンチ入り、山田は6番、1塁手として先発出場した。平井、飯田の両選手はこの日の出番はなかったが、この4年間の活躍で葦山高校の名を大いに轟かせた。特に、平井投手は平成10年春のリーグ戦で、防御率1位(1・17)を獲得している。ネット裏には、甲子園で共に戦った高校48回卒の同期生や当時の父母会のメンバーなども集まり、大きな声援を送った。



## シダックスグループ

代表 志太 勤



私の原点は葦山高校野球部である。葦山高校野球部が甲子園での選抜高校野球大会に見事優勝した年の春、念願の葦山高校に入学し、迷わず野球部に入部した。球拾いに明け暮れた練習後、クタクタになった身体をグラウンドの芝に投げ出して仲間と星空を見ながら明日への夢を語り合ったものだった。

六大学野球選手への夢を抱いていたものの、多発性関節炎によって断念せざるを得なくなり、事業家への志に転換したが、野球への情熱はやはり断ち切れず、調布リトルチームの面倒を見たり、現在もIBA(世界野球機構)のファウンダー・クラブ・メンバーを務めている。「日本一の給食サービス会社」を実現



し、シダックスグループ内に念願の硬式野球チームを結成したのが7年前になるが、都市対抗野球ではベスト8、あるいはベスト4へと進み、そして、昨秋の第26回社会人野球日本選手権において、やっと優勝することができた。夏の都市対抗野球と並ぶ社会人野球の頂点に立ったわけだが、次には都市対抗野球での「黒獅子旗」獲得を目標にしている。

私の人生においては、野球というものがあつたからこそ、との思いを強くもつており、いまでも脳裏には鮮明に葦山高校の野球部での思い出が残っている。頑張れ、葦山野球児たち、そして、野球部O Bの活躍を心から願っている。